

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2009.4.12 No.507 (毎月2回発行)

あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

あきる野市議選・総選挙勝利に向けて—— 党と後援会が「政策学習・決起集会」開催！

総選挙はまだ未定ですが、あきる野市議選は5月31日告示、6月7日投票で決まっています。市議選まで二ヶ月と迫ってきました。あきる野市の日本共産党と後援会は、市議選・総選挙勝利にむけて三月二十八日に「政策学習・決起集会」を開催しました。



市民アンケートの 回答460通超える 要求実現で緊急提案

を厳しく批判しました。そして「いきいきセンターの休止はするな」「学童クラブの待機児解消を」「のバスの増便を」など多くの市民要求を実現するため、影山議員からそれぞれ発言がありました。

鈴木地区委員長が 市議選、総選挙に ついて報告

総選挙の二十五区候補者でもある鈴木治西多摩青梅地区委員長から、解散・総選挙が五月にもという、情勢を紹介しながら少数激戦のあきる野市議選について報告がありました。

三月議会で市民要求掲げて頑張った党市議団冒頭、党市議団から発言がありました。白井市長は、秋川市長時代自らの失政によってあきる野市財政に大きな困難をもたらした。それを市民に説明や反省の弁がないどころか行政改革元年など、勝手な名前をつけて市民犠牲をすすめていることを告発しました。

それを市政のオール与党は、なにも批判しないなかで、日本共産党の市議団は三月議会で市民に犠牲を押し付ける「行政改革」を解明しました。

その上に立って政党選択の三つの争点と党市議団の値打ち、寄せられた市民からの切実な要求実現にむけ、「緊急要求」を示しました。

元氣な参加者の 決意表明など、 発言相次ぐ

その後、参加者からの質疑応答、決意表明が続きました。最後に新人のたばたあ

いるオール与党に今度の市議選で厳しい審判を下し、「住民こそ主人公」の立場で奮闘する日本共産党の三議席を確保することを誓いました。

最後に新人のたばたあ

news こんなこと... 見過せません

前号の投稿原稿で一部正確でない所がありました。訂正を兼ねて新しい投稿を掲載します。

前号のこの欄に、環境・建設委員会の傍聴記が掲載されていきました。傍聴した私も一言、よく不規則発言を繰り返す白井市長は、今回は委員会がまだ終わっていないにも拘らず、陳情採択に賛成した中村議員席まで歩み寄り、激しく言葉を投げかけていました。私には恫喝していると思えました。前号の投稿記事では、「ひどかったのは、田野倉議員、陳情者と陳情団体に対する悪罵を投げつける発言を繰り返す」とありましたが、正確には、田野倉議員と青木議員です。青木議員のためにも訂正させていただきます。私も、本当に恐ろしく、また情けなく思いました。(投稿)

野良望

「12人の怒れる男」。ヘンリー・フォンダ主演で米の陪審制度を扱った映画だとは聞いていたがみる機会はなかった。今度そのDVD版をみることでできた▼12人の陪審員が有罪かどうかを議論。最初は11人が有罪で一致一人(ヘンリー・フォンダ)だけが「私は疑問がある。話し合いたい」といい、延々と議論をする。最後は12人全員が無罪判決に。「疑わしきは罰せず」という刑事裁判の原則が見事に貫かれ、被告の権利が守られる▼日本では5月に裁判員制度が施行される。悪名高い代用監獄の廃止も取り調べの全面可視化もやらない上に、非公開の公判前整理手続きなど「新たな冤罪の舞台」になりかねない危険な制度だ。そして3日や5日間で簡単に死刑などの判決が出される事態になっている▼だからこそ裁判を徹底してたたかい、世論を高めるなら、参加する裁判員の中から多くの(ヘンリー・フォンダ)が生まれるであろうし、生まなければならぬ。



たばた あずみ
ひさしぶりにむすこの幼稚園の同級生が集まりました。広い範囲から通っていたので、卒園以来なかなか会う機会がない子がほとんど。それでも幼稚園時代同様に群れて遊びはじめる子達の方、ひとり離れて遊ぶむすこ...。彼なりの楽しみ方、溶け込み方なのだとわかっていても、にぎやか・活発な子をうらやましく感じてしまいます。

やがて、むすこの遊びに興味を持った子が集まってきて、なんだか楽しそう。帰るときには「楽しかった!」とにこにこ。ひとりひとり違っていいと思うのに、「子ども=元気」じゃないと納得できない。母修行の道は長いです。(09.4.12)
連絡先は☎550-6674

あきる野市の財政で 3月29日 市民が学習・講演会

心配です。あきる野市の財政



『市の財政はどうしてこうなっ
たーそしてどうすればいいの？』
との問いかけで「温泉問題を考
える会」が主催したこの講演会には、
市の財政状
況を心配し
た市民が会
場を満員に
しました。
講演は、多
摩26市の中
で一番借金
の多いあき
る野市。これ
は秋川時代
の土地開発

今後も系統的に学習会を開催
したいとの提案がされました。

『心配です』と、56人が参加！ 大和田一紘さんが熱弁

都留文科
大学講師

『市の財政はどうしてこうなっ
たーそしてどうすればいいの？』
との問いかけで「温泉問題を考
える会」が主催したこの講演会には、
市の財政状
況を心配し
た市民が会
場を満員に
しました。
講演は、多
摩26市の中
で一番借金
の多いあき
る野市。これ
は秋川時代
の土地開発

給付金コンビニコピーが大繁盛
警察を動かす奴も一つ穴
山沢さん偽装がバレて居直りか

西川昇
翠里
松嶺坊



絵手紙／瀬川和子さん・牛沼在住

「生活が悪くなった」が 61.2%

市民アンケートの 回答が語る その④

日本共産党の
市民アンケートの
回答が語る
その④

一〇〇年に一度の経済不況
の中で、いま市民の生活は大変
です。リストラ、賃下げや負担
増であなたの生活はどうです
かの問いに「悪くなった61.2%、
「変わらない」38.2%となっており、
市民の生活実態が、かなり正確
に反映されていると思います。
ところが、「今は変わらない」
という回答でも、これから悪

くなるだろう」というのは数多
くありましたが、「良くなる」と
いう人は皆無です。
今すぐめている自民公明の
政治に対し、「これほど市民の怒
りが沸騰しているときはない
と思いました。」
さらに、内容も切実です。「少
ない年金から天引きが多く困
っています」「年金から介護保
険料が引かれるので、使える額
が減ってしまいました」「主人
が50代の若さで脳内出血で倒
れ手術しました。月々の支払い
が大変と言うより出来ません」
「妻と一緒に食べるだけで、子
どもを育てるだけの生活の余

裕がない」など、切実な声が届
けられています。
「生きていくのがつら
い」と悲痛な訴え…
40代の主婦から、次のような
声も届きました。「この年にな
るまで、政治のこととか、共産
党にもあまり興味も関心もあ
りませんでした。生活がどんど
ん苦しくなって、親、自分ら、子
どもの将来を考えるととても
笑ってはいられなくなりました。
末端の生活者がほとんどなのに、
上の方は理解も関心もないよ
うで、何を言ってもリアル
に聞こえません。貧乏人のねた

みなのでしょうか。支払いに疲
れ、生活に疲れ、将来が見えな
い現状のもと、毎日どうやって
過ごせばいいのか、生きていく
のがつらくなりました。」
本当に身が引き裂かれるよ
うな悲痛の声です。
こうした市民のくらしの実
態を考えたとき、開発に失敗し
て売れ残った山林を31億円の
新たな借金で購入し、「郷土の
恵みの森構想」計画として開発
に着手することは論外です。
地方自治体の仕事は、市民の
暮らしを守ることにこそ力を
つくすべきではないでしょうか。
今回の「市民アンケート」を通
じてあらためて感じることで
した。

歴史探訪

第87回

地名考・切欠



秋川グリーンスポーツ公園

秋川丘陵の急な北斜面に
面した山麓の小さな平地に
集落ができた事からこの地
名が付いたのでしょうか。八
王子市から秋多町へ編入さ
れた当時の家数26軒・人口
120人で人家は雨間に接する
西側に集中しています。
(この項終り)
草花 木崎秀治

あきる野市の大字であり知られていない地名で、人
口も最も少ない切欠という変わった名の地域です。八王子
市高月町切欠から一九七二(昭四六)四月、行政区地変更
で当時の秋多町に編入されました。地形上、切欠は高月
集落から飛び地のように離れていて、住民は江戸時代か
ら生活に様々な不便を生じていたといわれています。秋多町へ
のは編入はそれを解消するためでした。
秋川の南に位置する切欠は西が雨間に隣接、北は秋川
を挟みこも雨間、北東に野辺、東が小川という位置関
係になります。「キリカケ」が変化して「キツカケ」となり
ますが、「キリ」は切り立つという意、「カケ」は崖であり、
従って「切り立つ崖」となります。「武蔵名勝図会」では
(木崎詳略)「秋川より南にあり、青梅から八王子へ行
く往來道がある。菅生・平井・大久野を通り、大塚のある
原道へ出て雨間から嶺を越えて八王子へ向かう。山の
上り下りは約一・二キロで切崖山」と書かれています。

俳句

(季語Ⅱ「啓蟄」)冬の間、蟄伏していた虫が春になって地上に出て
くる事を云います。俳句では下界の現象と自分の心との間に繋
がる見えない世界を描くのが良い句です。

五十口径の銃弾刺さり南風の町(勝代)
つくづくし手に摘みをる女の子(やす子)
春の日に集い笑ふや都民奇席(静子)
耳なりを初音とききぬ一万歩(照代)
地虫出づ土の匂ひの耕運機(和恵)

断るべき人形なくて春の雪(忠治)
春草へ歩み出すやに伎芸天(淑子)
狛犬の親の尾に戯れのどけしや(つや)
散る花の城へ花嫁人力車(るり子)
啓蟄の一織ごとく風が発つ(かほる)
花の雨庇支えし堂の邪鬼(秀治)